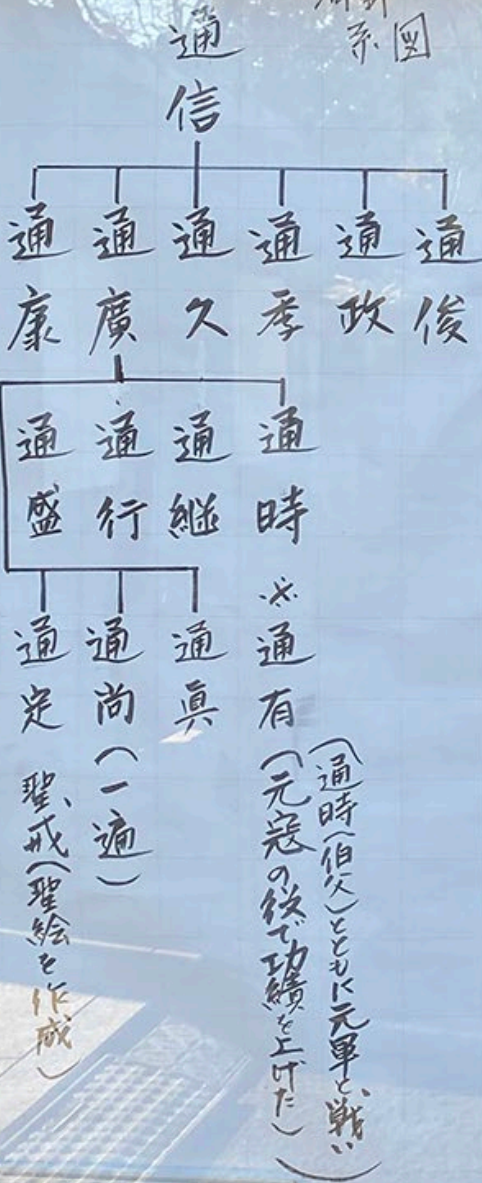


住職の佛教史 時宗(2)

時宗の念佛思想となると当然、宗祖一遍上人の
 歴伝を伝える事になります

「捨聖」といわれた一遍は鎌倉時代後半、延応元年
 (一二三九)伊予国(愛媛県)道後にて河野家に生まれた
 河野家は祖父通信の時壇ノ浦の戦いで河野水軍を率い、
 平家を全滅させるのに大きな力となったが、しがし承久の乱に
 して後鳥羽上皇に組した為、通信は奥州平泉に流され、
 一族は没落。その後、一遍は生まれた
 父は出家、母は一遍十歳の時亡くなった

これらの影響から一遍も出家し太宰府の聖達上人
 (西山証空の弟子)のもとで浄土教の基礎を学んだ



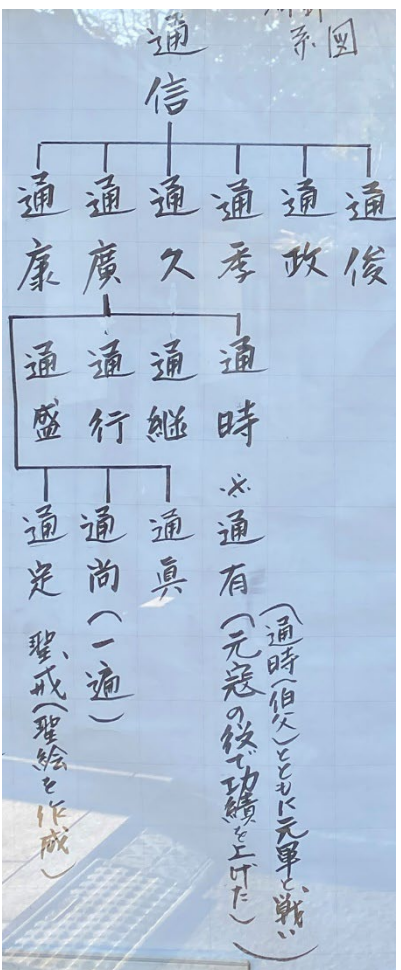
これらから先は聖絵の詞を引用する、聖絵とは一遍の生涯を描いた
 巻絵物で絹本着色十二巻国宝となっている

住職の佛教史 時宗(2)

時宗の念仏思想となると当然、宗祖一遍上人の歴史を伝えることになります。

「捨聖」といわれた一遍は鎌倉時代後半、延応元年(一二三九)伊予国(愛媛県)道後にて河野家に生まれた。河野家は祖父通信の時、壇ノ浦の戦で河野水軍を率いて後鳥羽上皇に組みした為、通信は奥州平泉に流され一族は没落、その後一遍が生まれた。

父は出家、母は一遍十歳の時、亡くなった。これらの影響から一遍も出家し太宰府の聖達上人(西山証空の弟子)のもとで浄土教の基礎を学んだ。



これから先は聖絵の詞を引用する。聖絵とは一遍の生涯を描いた絵巻物で絹本着色十二巻、国宝となっている。

住職 仁阿